

# 資金調達に関するご説明

2024年2月20日

株式会社ペルセウスプロテオミクス  
(証券コード：4882)



# 01 当社の成長戦略と資金調達の内容

# 当社の成長戦略 (1) パイプラインの整備1

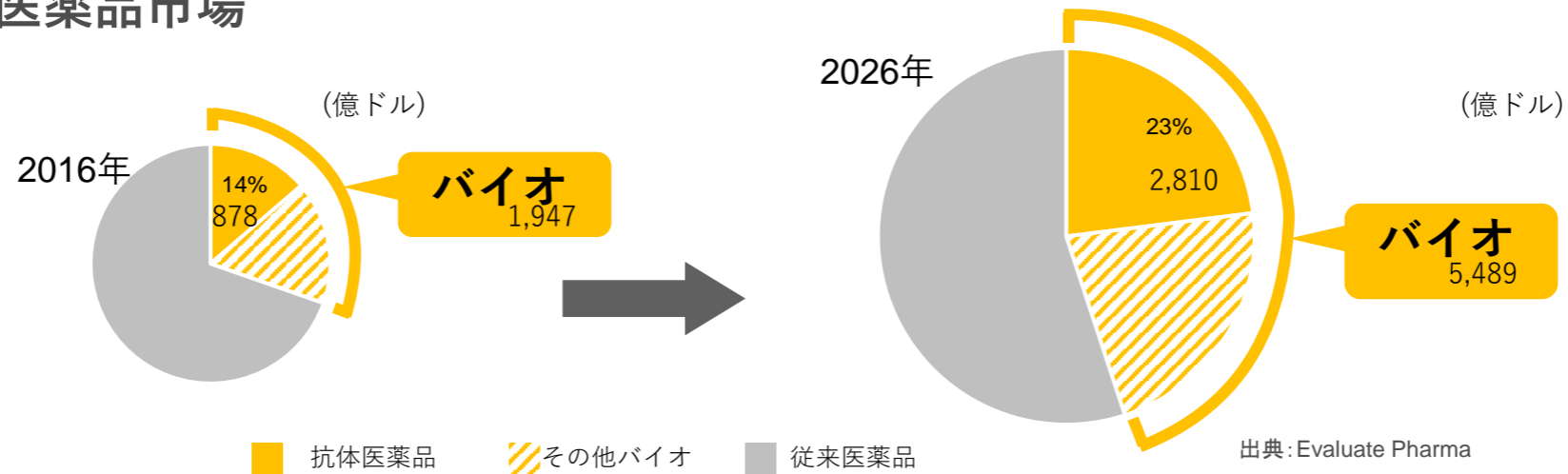
- PPMX-T002, T003を導出し、PPMX-T004(ADC)の開発に注力
- さらに新規パイプラインを創出

: 今後の計画

当社コード	対象疾患	研究開発		治 験			承認	備考
		創薬研究	非臨床試験	P1	P2	P3		
PPMX-T003	PV				FY2025/3 導出			<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自社でP1実施中</li> <li>• FY2025/3に導出</li> </ul>
	ANKL							<ul style="list-style-type: none"> <li>• AMEDプログラムに採択</li> <li>• 医師主導治験実施中</li> <li>• 血液がんへの適応拡大</li> </ul>
PPMX-T002	固形がん (卵巣がん等)	RI抗体 (Y)						<ul style="list-style-type: none"> <li>• がん集積性は臨床で実証済み</li> <li>• 当社主導で開発 (PDRファーマと合意)</li> <li>• RIをAcに変更</li> <li>• FY2025/3に導出</li> </ul>
		RI抗体 (Ac)						
PPMX-T004	固形がん (卵巣がん等)	ADC						<ul style="list-style-type: none"> <li>• 薬剤とリンカーの最適化検討中</li> <li>• 主力パイプライン</li> <li>• 導出に向けて開発</li> </ul>
		新ADC						
新規 パイプライン								新たなパイプラインの開発に注力

# 当社の成長戦略 (2) 抗体医薬品市場

## ● 世界のバイオ医薬品市場



## ● 医薬品のトレンドは低分子からバイオ医薬品へ

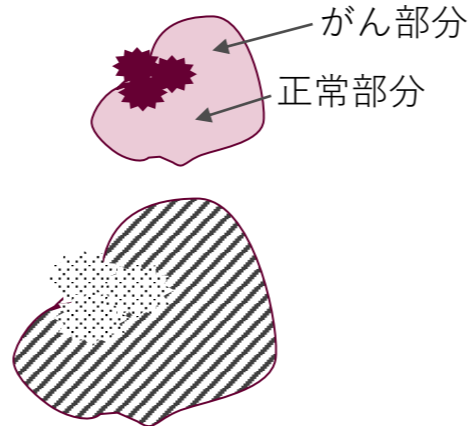


新しい医薬品は、低分子から抗体へ、抗体から新しいモダリティ（核酸、ペプチド、細胞治療、その他）へと進化する中、体内にもともと存在する抗体は、その高い機能性、安全性を活用して独自の進化を遂げています。

# 当社の成長戦略 (3) ADCについて

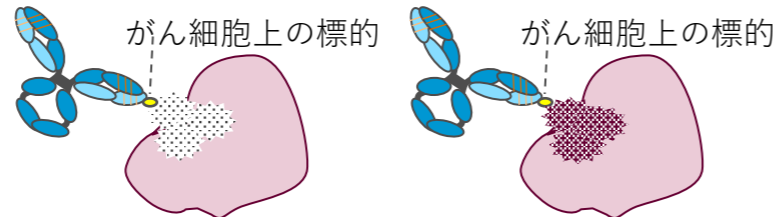
## ● ADCは究極の分子標的薬

低分子  
抗がん剤



がん細胞だけでなく正常細胞まで殺傷する

抗体医薬品



がん細胞だけを殺傷するが効果が不足する場合もある

ADC

低分子抗がん剤

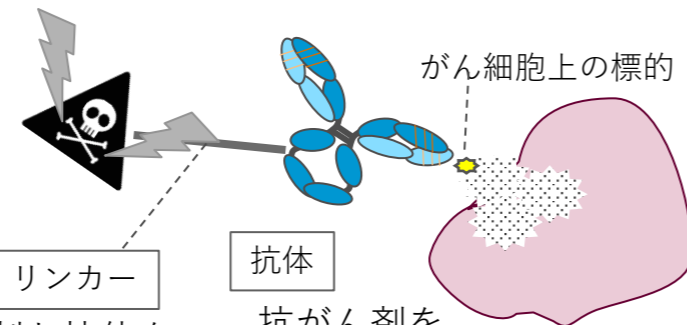
がん細胞を  
強力に殺傷

リンカー

抗がん剤と抗体を  
連結する

抗体

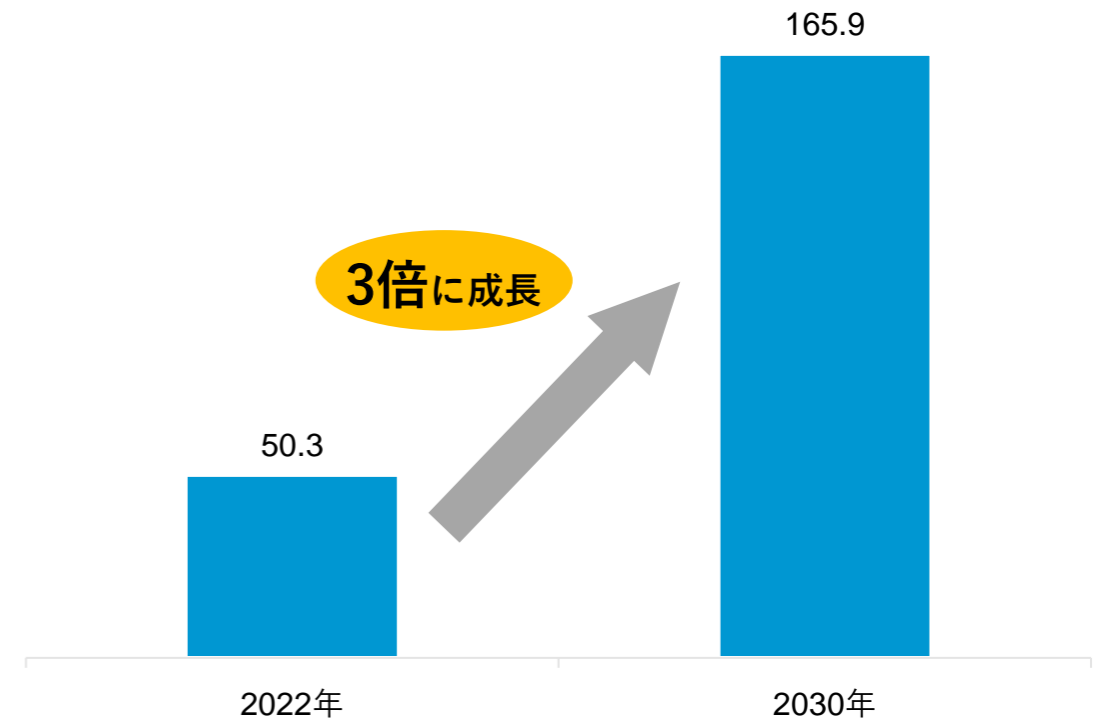
抗がん剤を  
がん細胞まで運ぶ



抗体ががん細胞にのみ抗がん剤を届け、がん細胞だけを強く殺傷する

## ● 世界のADC市場

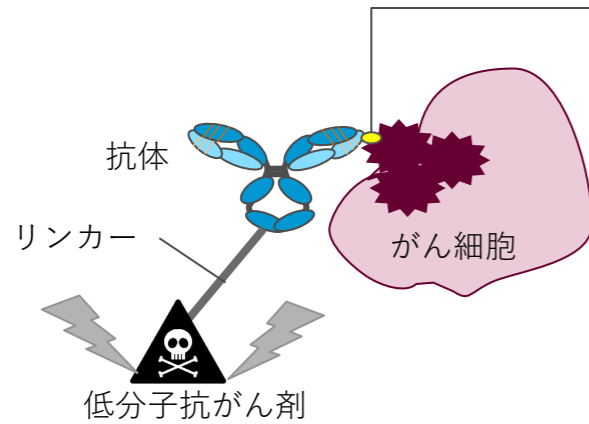
(億ドル)



出典：Global Data, 「抗体薬物複合体の世界市場-2023-2030」

抗体と低分子それぞれの強みと難しさを併せ持つため、その薬剤設計は簡単ではない

# 当社の成長戦略 (4) PPMX-T004 (ADC)を主カパイプラインとして開発



標的：CDH3

以下を含む多くのがんで発現している、がん特異性の高い標的

- ・ 卵巣がん
- ・ 肺がん
- ・ 胃がん
- ・ 大腸がん
- ・ 頭頸部がん
- ・ 乳がん

協業先  
(低分子開発企業)



## リンカーと抗がん剤に求められる機能

- がんが届くまで抗がん剤が放出されないよう、血液中では抗体と強固に結合
- がん細胞内で抗体から放出されてがんを殺傷

## 抗体に求められる機能

- 標的 (CDH3) に確実に結合
- 細胞に結合した後、細胞内に取り込まれる

優れた低分子技術を有する協業先との共同研究開発を実施中

# これまでの当社の歩みと今後の成長

- 3件のパイプライン導出実績
- PPMX-T003の2つの治験
- PPMX-T004の薬効改善

- ・ フェージディスプレイ法
- ・ ハイブリドーマ法
- ・ 抗体スクリーニング法 (ICOS法)

- PPMX-T004の開発推進
- その他のADCや他モダリティとの組合せ
- アカデミアと新規標的に対する抗体を探索

- ・ フェージライブラリの改良
- ・ AI創薬への展開に向けた技術構築

+

左記技術

# 資金使途および支出予定時期

	資金使途	支出予定時期	金額
1	研究開発資金 <ul style="list-style-type: none"><li>● PPMX-T003：PV患者さん第I相試験費用</li><li>● PPMX-T002：治験薬保管費用及び品質保証のための検査費用等</li><li>● PPMX-T004：GLP対応およびGMP治験薬製造準備</li><li>● 新規パイプラインの開発、当社独自の抗体技術の研鑽、研究員の人件費等</li></ul>	2024年4月~2026年3月	1,043百万円
2	運転資金	2024年4月~2026年3月	500百万円

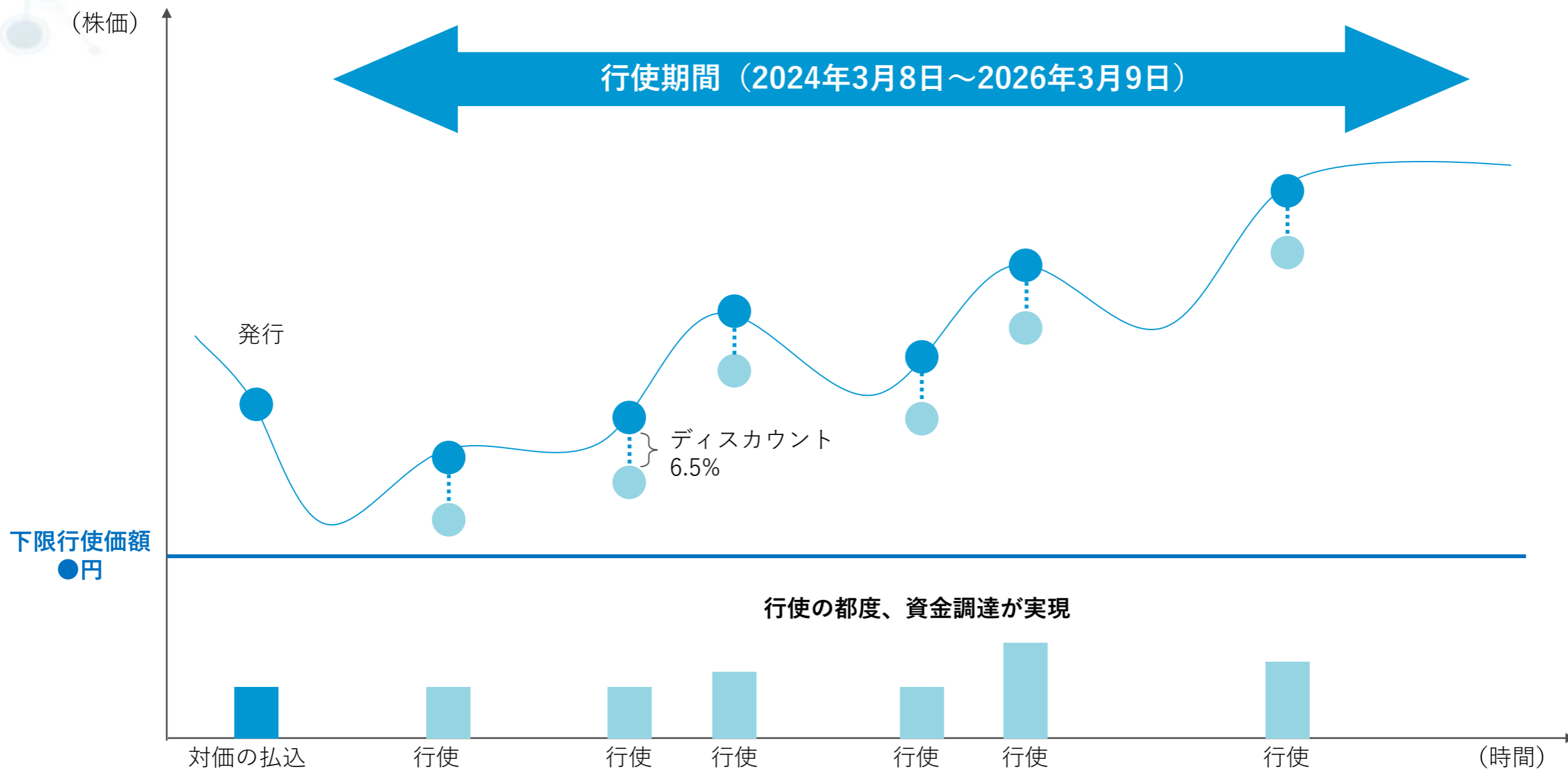


## 第28回新株予約権

割当日	2024年3月7日
割当先	パークレイズ・バンク
潜在株式数	2,900,000株（2023年12月31日現在の発行済株式総数に対し24.51%）
発行価額	総額1,566,000円（新株予約権1個あたり54円）
調達予定額	1,543,966,000円（差引手取概算額）（注）
行使期間	2024年3月8日～2026年3月9日（約2年間）
当初行使価額	536円
行使価額の修正	行使請求の効力発生日の直前取引日東証終値の93.5%に相当する金額に修正
下限行使価額	268円（発行決議日直前取引日（2月19日）の東証終値の50%に相当する金額）

（注）調達予定額は、本新株予約権の払込金額の総額に、本新株予約権の行使に際して出資される財産の価額の合計額を合算した金額から、本新株予約権の発行に係る諸費用の概算額を差し引いた金額となります。なお、本新株予約権の行使に際して出資される財産の価額の合計額は、当初行使価額で全ての本新株予約権が行使されたと仮定した場合の金額であります。行使価額が修正又は調整された場合には、調達予定額は増加又は減少します。また、本新株予約権の行使期間内に行使が行われない場合及び当社が取得した本新株予約権を消却した場合には、調達予定額は減少します。

# 新株予約権による資金調達のイメージ



(注) 上記はイメージであり、当社株価が上記のとおり推移すること及び割当先により新株予約権が行使されることをお約束するものではありません。

# 02 Q&A

No.	Question	Answer
1	新株予約権とは何ですか。	新株予約権とは、発行会社に対して行使することにより、発行会社の株式の交付を受ける権利です。 新株予約権の割当予定先であるバークレイズ・バンクが新株予約権を行使すると、当社は行使価額相当の金銭の払込を受け、同社に当社普通株式を交付します。これにより、当社は資金調達及び資本増強を行います。
2	PPMX-T003とT002の2つの導出を2025/3期までに予定している中で、なぜ今資金調達を行うのですか。	PPMX-T003およびT002の2つは2025年3月期までに導出する計画で進めております。しかしながら、具体的な時期や導出金額は現段階で確定しておりません。また、今期Q3の現預金残高は1,663百万円ですが、新たなADC（抗体薬物複合体）として開発中のPPMX-T004は現在前臨床段階にあり、今後第I相試験の実施に向けてGLP対応およびGMP治験薬製造などにより、2025年3月期以降、開発費用の増加を見込んでおります。また、新規パイプラインの開発費や当社独自の抗体技術の研鑽、研究員の人件費、運転資金が必要であり、その一部として1,543百万円の資金を確保したいと考えております。

No.	Question	Answer
3	この方法のメリットは何ですか。	<ul style="list-style-type: none"><li>① 行使価額が各行使請求日の直前取引日の終値の93.5%に相当する金額に修正され、上限行使価額の設定がないため株価上昇時には調達金額が増加します。</li><li>② 行使停止を指示することで、株価動向や市場環境等に応じて本新株予約権が行使されないようにすることができます。</li><li>③ 資本政策の変更が必要となった場合、当社の判断により、残存する新株予約権を当社が取得できます。</li></ul>
4	この方法のデメリットは何ですか。	<ul style="list-style-type: none"><li>① 割当先は、市場環境等を考慮しながら権利行使を行うため、当社株式の流動性が低下した場合などに、権利行使の完了までに一定の期間を要します。</li><li>② 当社株価が下落した場合、株価に連動して行使時の払込価額が下方修正されるため、実際の調達額が当初予定額を下回る可能性があります。ただし、行使価額は下限行使価額を下回ることはありません。</li><li>③ 割当先がバークレイズ・バンクのみであるため、不特定多数の新規投資家から資金調達を募るという点において限界があります。</li></ul>

No.	Question	Answer
5	割当予定先としてバークレイズ・バンクを選定した理由は何でしょうか。	当社は、複数の証券会社から提案を受けた複数の資金調達方法について検討しましたが、バークレイズ・バンク・グループに属するバークレイズ証券からの提案が、株価や既存株主の利益に十分に配慮しながら資金を調達したいという当社のニーズに最も合致するものであったこと、バークレイズ・バンクが同種のファイナンスにおいて豊富な実績を有していること等を総合的に勘案し、バークレイズ証券の提案を採用し、バークレイズ・バンクを割当予定先として選定しました。



【お問合せ:】

Email: [ir@ppmx.com](mailto:ir@ppmx.com)

TEL: 03-6264-8224

FAX: 03-3668-7776

<https://www.ppmx.com>

本資料は、2024年2月20日に当社が公表したプレスリリース「第三者割当による第28回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行及び第三者割当契約の締結に関するお知らせ」の補足説明資料として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料には、将来についての予想や見通しが含まれておりますが、当社として、その達成を約束するものではありません。これらは現在当社で入手可能な情報に基づいて作成しており、経済や医薬品業界の動向などにより、変動することをご了承ください。